401806-06 ⓚR（06）

KVK 壁付シングルレバー式混合栓・シャワー KM550・KF550〈各仕様共通〉施工説明書

施工業者様へ 施工前にこの施工説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
この施工説明書と取扱説明書は必ずご使用になるお客様にお渡しください。

■この施工説明書はKM550仕様のイラストで説明しています。

安全上のご注意

●ここに示した ⚠警告 は誤った取扱いをすると、死亡または重症に結び付く可能性があります。

●ここに示した ⚠注意 は誤った取扱いをすると、傷害または物的損害に結び付く可能性があります。
いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

●お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

⃠ この絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です　❗ この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です

⚠警告

湯水を逆に配管しないでください。

水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。必ず給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。

給湯温度は85℃より高温で使用しないでください。

85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

加工及び接合、市販浄水器具の取り付け等の改造はしないでください。

器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

給湯に蒸気を使用しないでください。

器具が破損して、やけど、漏水のおそれがあります。

寒冷地仕様の場合
水抜き栓は水抜き以外の目的で開けないでください。

水抜き栓をいきなり開けますと高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が吹き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

配管などの解氷のため解氷機をご使用の場合、水栓には絶対に通電しないでください。

通電すると水栓が発熱し、破損して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

⚠注意

器具に強い力や衝撃を与えないでください。

器具が破損し、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

めっき部品は、ぶつけたり落としたりしないでください。また、鋭利な物や硬い物を当てないでください。

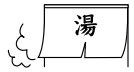
めっきの表面が割れて、けがをするおそれがあります。万一めっきの表面が割れた場合は、ただちに新しい部品に交換してください。

他所の水栓の使用等により水圧変動が起こり、湯の使用中に湯温が急上昇することがあります。

やけどのおそれがありますので、やけどのおそれのないところまで水圧変動をおさえた配管設備にしてください。

⚠注意

めっきシャワーヘッド仕様の場合
めっきシャワーヘッドは、公衆浴場・レジャー施設等、不特定多数の方が頻繁に利用する場所では使用しないでください。



めっきの表面が割れて、けがをするおそれがあります。

凍結が予想される際は、一般地仕様をお使いの場合、少量の水を出しておくか、配管に布を巻くなどして、凍結を防止してください。寒冷地仕様をお使いの場合は配管の水抜き操作と水栓金具の水抜き操作を行ってください。

水抜きしないと凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

取り付け前に

① 使用水圧〔A=（給湯機の最低作動水圧）+（配管圧力損失）〕

（1）瞬間給湯機との組み合わせ（設定条件　水温：25℃　給湯機温度調節：高温　吐水温度：42℃　ハンドル全開）

〔比例制御式〕最低必要水圧：吐水口仕様…A+50.0KPa（動水圧）、キッチンシャワー付・3wayシャワー付仕様…A+0.10MPa（動水圧）
最高水圧：0.75MPa（静水圧）

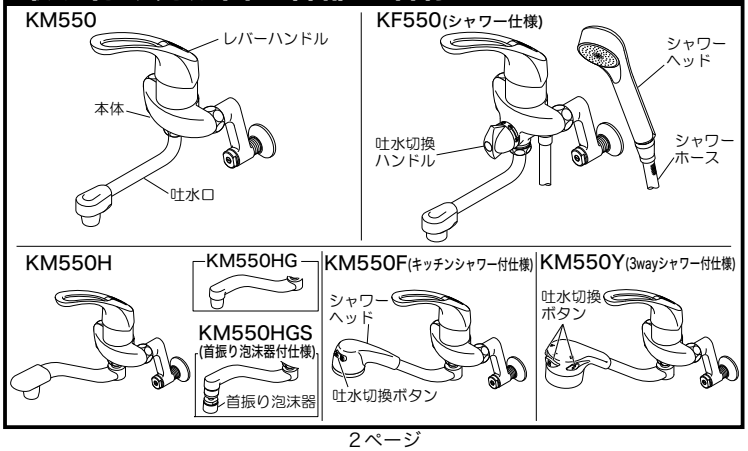
（2）貯湯式給湯機との組み合わせ

〔給湯・給水圧力〕最低必要水圧：吐水口仕様…A+50.0KPa（動水圧）、キッチンシャワー付・3wayシャワー付仕様…A+80.0KPa（動水圧）
最高水圧：0.75MPa（静水圧）

② レバーハンドルは全開で使用してください。給湯機が着火しない場合があります。
③ 給水圧力は給湯圧力より高くするか、同圧になるようにしてください。
④ 給水圧力が0.3MPaから、0.75MPaまでは止水弁で流量調節してください。
⑤ 給水圧力が0.75MPaを超えるときは、市販の減圧弁で、0.2MPa程度に減圧してください。
⑥ 給湯機の給湯温度は、安全のため60℃給湯をおすすめします。
⑦ 給湯機からの配管は最短距離で配管し、配管には保温材を巻いてください。
⑧ 使用諸条件を加味して適正な能力の給湯機を選ばないと、適正な吐水量及び吐水温度が得られないことがあります。
⑨ 本製品は改造（加工及び接合、市販浄水器具の取り付け等）によるトラブルについては、保証の限りではありません。
⑩ 通水検査をしていますので器具内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

取り付け完成図と各部の名称

部品の形状は仕様によって異なる場合があります。

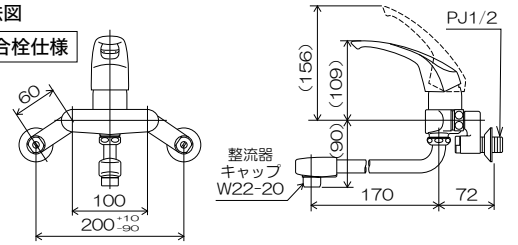


寸法図 ／ 分解図

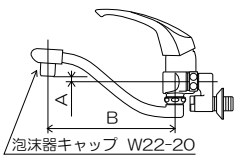
部品の形状は仕様によって異なる場合があります。

寸法図

混合栓仕様

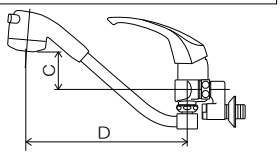


H・HG仕様



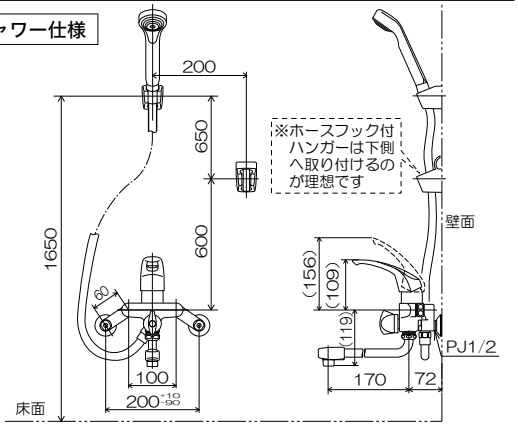
	A寸法	B寸法
H仕様	8	204
HG仕様	9	204
HGS仕様	-22	207

キッチンシャワー・3wayシャワー付仕様

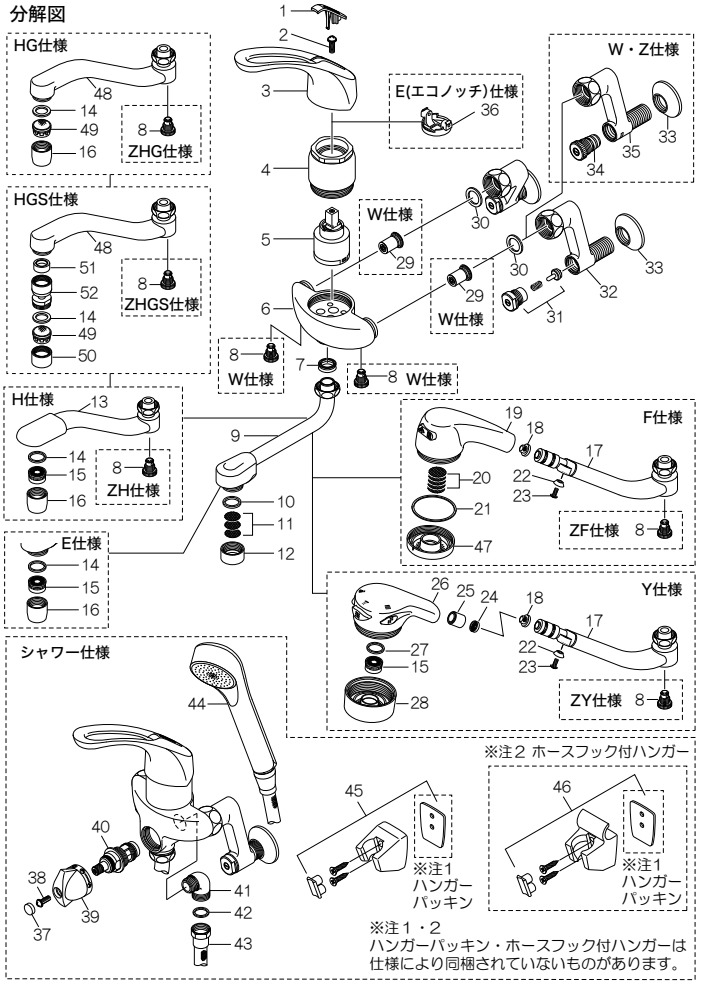


	C寸法	D寸法
F仕様［ ］寸法はR2仕様	12 [52]	200 [240]
Y仕様［ ］寸法はR17仕様	8 [-19]	200 [170]

シャワー仕様



分解図



1	キャップ
2	ビス
3	レバーハンドル
4	固定ナット
5	カートリッジ
6	本体
7	Xパッキン
8	水抜き栓
9	吐水口
10	パッキン
11	ストレーナ
12	整流器キャップ
13	吐水口
14	パッキン
15	泡沫器
16	泡沫器キャップ
17	吐水口
18	ストレーナ
19	シャワーヘッド
20	ストレーナ
21	パッキン
22	ブッシュ
23	ビス
24	定流量弁
25	ソケット
26	シャワーヘッド
27	パッキン
28	シャワーフェイス
29	逆流防止弁
30	パッキン
31	止水弁
32	ソケット
33	送り座
34	水抜き栓付止水弁
35	ソケット
36	エコノッチユニット
37	キャップ
38	ビス
39	切換ハンドル
40	切換弁ボンネット
41	シャワーエルボ
42	パッキン
43	シャワーホース
44	シャワーヘッド
45	シャワーハンガー
46	ホースフック付ハンガー
47	シャワーフェイス
48	吐水口
49	泡沫器
50	泡沫器キャップ
51	パッキン
52	ジョイントユニット

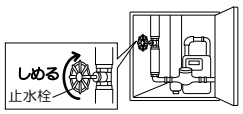
取り付け手順

従来品から取り替える場合　※取り替えの際は、取付店またはKVK修理受付センターにご相談ください。

① 止水栓を閉め、湯水が出ないことを確認します。
（地域によっては、左回しの場合があります）

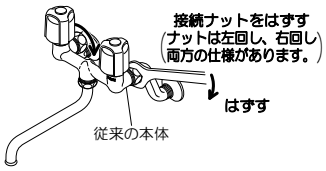
例）屋外の地面にあるふたの中

マンションなどの止水栓ボックスの場合

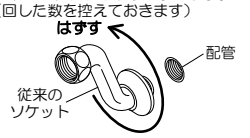


例）通路にある扉の中

② 従来の本体を取りはずします。



③ 従来のソケットを取りはずします。
（回した数を控えておきます）



はずした後は、歯ブラシ等で配管内のゴミ等をきれいに取り除いてください。

1 給水管内の清掃

配管工事後、必ず給湯・給水管内を清掃してください。

2 ソケットと本体の取り付け

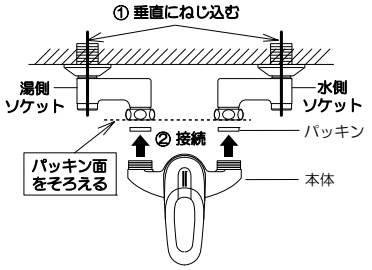
① ソケットのネジ部にシールテープを巻いて、配管に垂直にねじ込みます。

【お願い】・図1のように湯側と水側のパッキン面は、段違いにならないようにしてください。
（シールテープの巻き数にて調節してください。）
・図2のように湯側ソケットと水側ソケットは「ハ」の字にして取り付けてください。

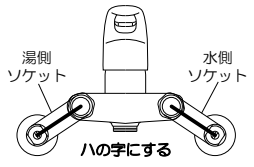
② ソケットと本体を接続します。

【⚠ 注意】締め付けは、六角の二面幅に合わせてモンキーレンチ等で確実に行ってください。しっかり締め付けられていないと、漏水するおそれがあります。

〈図1〉上から見た図



〈図2〉前から見た図

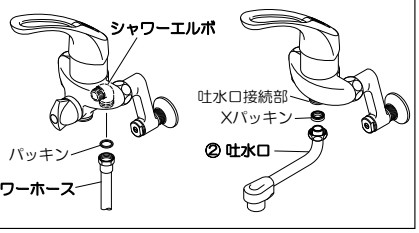


3 シャワーホースと吐水口の接続

① シャワー仕様のみシャワーホースをシャワーエルボに接続します。

② 吐水口を吐水口接続部に接続します。
締め付けは、二面幅に合わせてモンキーレンチ等で確実に行ってください。

【お願い】締め付ける際は傷が付かないよう、あて布等をしてください。



取り付け後の点検と清掃1

通水確認

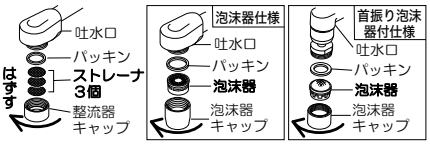
【⚠ 注意】水栓を取り付け後、通水して湯水の出し止めを5～6回繰り返し、配管接続部及び水栓から水漏れがないことを確認してください。確認しないと、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

ストレーナ・泡沫器・シャワーフェイス清掃のお願い

吐水口のストレーナ又は泡沫器や、シャワーヘッドの泡沫器・ストレーナ・シャワーフェイスにゴミ等がつまりますと、吐水量が減ったり、きれいに流れなくなったりしますので、施工後必ず清掃してください。

吐水口のストレーナ又は泡沫器清掃（吐水口仕様の場合）

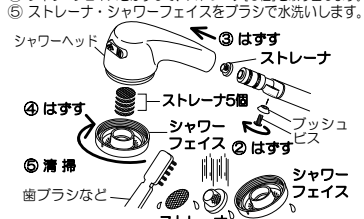
① 湯水全開で20～30秒吐水させます。
② 吐水口の整流器キャップ又は泡沫器キャップをはずす方向にひねって、ストレーナ又は泡沫器を取りはずします。
③ ストレーナ又は泡沫器をブラシで水洗いします。



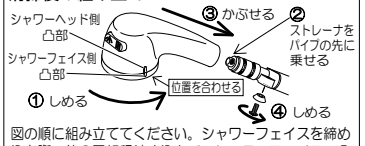
清掃後は、はずした逆の手順で組み立ててください。

ストレーナ・シャワーフェイス清掃（キッチンシャワー付仕様の場合）

① 湯水全開で20～30秒吐水させます。
② ビスをはずします。
③ シャワーヘッドを引き抜き、ストレーナ[1個]を取りはずします。
④ シャワーフェイスをはずして、ストレーナ[5個]を取り出します。
⑤ ストレーナ・シャワーフェイスをブラシで水洗いします。



清掃後の組み立て

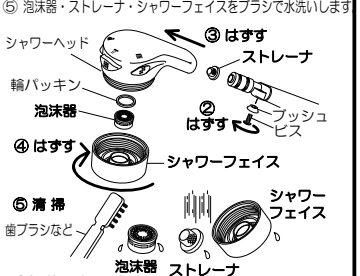


図の順に組み立ててください。シャワーフェイスを締め込む際、約3回転程締め込んで、シャワーフェイスの凸部とシャワーヘッド右側面の凸部を合わせてください。

【お願い】凸部を合わせたらそれ以上締め込まないでください。シャワーフェイスが破損したり、はずれにくくなるおそれがあります。

泡沫器・ストレーナ・シャワーフェイス清掃（3wayシャワー付仕様の場合）

① 湯水全開で20～30秒吐水させます。
② ビスをはずします。
③ シャワーヘッドを引き抜き、ストレーナを取りはずします。
④ シャワーフェイスをはずして、泡沫器を取り出します。
⑤ 泡沫器・ストレーナ・シャワーフェイスをブラシで水洗いします



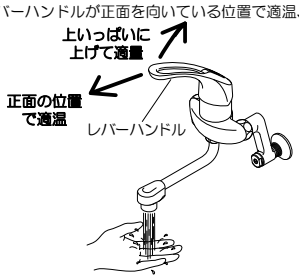
清掃後の組み立て

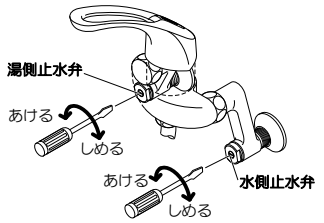
【お願い】シャワーフェイスを締め込む際、締め込みすぎにご注意ください。はずれにくくなるおそれがあります。

取り付け後の点検と清掃2

湯温・流量調節

レバーハンドルが正面を向いている位置で適温、全開吐水で適量になるように、止水弁で調節します。





故障かなと思ったら…

次のような現象は故障ではありません。修理を依頼される前に下記の表に従ってもう一度お確かめください。

現　象	お調べいただくところ	処　置	参照ページ及び項目
湯水が止まらない	(シャワー仕様のみ) 吐水切換ハンドルはいっぱいまで回っていますか	吐水切換ハンドルをいっぱいまで回す	取扱説明書4ページ「吐水切換方法」
	(シャワー仕様のみ) 止水直後シャワーヘッドから落ちる水滴は、シャワーヘッド内の残留水です。故障ではありません		—
吐水量が少ない（シャワーが弱い）	止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	8ページ「湯温・流量調節」
	ストレーナ・泡沫器・シャワーフェイスにゴミ等がつまっていませんか	ストレーナ・泡沫器・シャワーフェイスを清掃する	7ページ「ストレーナ・泡沫器・シャワーフェイス清掃のお願い」
	ガス給湯機と組合せてご使用の場合、能力切換式のものでは適正能力にセットされていますか	ガス給湯機の能力を適正能力にセットする	—
	ストレーナ・泡沫器・シャワーフェイスは凍っていませんか	ストレーナ・泡沫器・シャワーフェイスにぬるま湯をかける	—
	[3wayシャワー付仕様の場合] 給水圧力が低い場合、定流量弁を取りはずすと改善されることがあります		取扱説明書8ページ「故障かなと思ったら…」
高温しか出ない	水側止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	8ページ「湯温・流量調節」
低温しか出ない	湯側止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	8ページ「湯温・流量調節」
	給湯機から十分な湯がきていますか	給湯機の設定温度・作動を確認する	—
温度調節がうまくできない	湯側・水側止水弁は十分に開いていますか	止水弁で流量を調節する	8ページ「湯温・流量調節」
	給湯機から十分な湯がきていますか	給湯機の設定温度・作動を確認する	—
	ストレーナ・泡沫器・シャワーフェイスにゴミ等がつまっていませんか	ストレーナ・泡沫器・シャワーフェイスを清掃する	7ページ「ストレーナ・泡沫器・シャワーフェイス清掃のお願い」
吐水が飛び散る	ストレーナ・泡沫器・シャワーフェイスにゴミ等がつまっていませんか	ストレーナ・泡沫器・シャワーフェイスを清掃する	7ページ「ストレーナ・泡沫器・シャワーフェイス清掃のお願い」

[水栓本体内部のメンテナンスをする場合]

【⚠ 注意】修理技術者以外の人は水栓本体内部を分解しないでください。故障や水漏れの原因になります。水栓本体内部のメンテナンスは、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご依頼ください。